

# 続 蝉

# 空



DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





# 続・空蟬

例の「道具」、大変お楽しみを頂けたようで、なによりです

時間をかけて用意した甲斐がありました





あ、弾痕…  
見てない…ね



性的…僕に  
隠されている…  
そ、そんなこと  
あるわけが…

きっと不安にさせて  
しまったでしょうね  
すみません、でも  
お願い以上の淫らな姿を  
晒されていた貴女の中に  
どれほど強い性的欲望が  
隠されているものなのか  
興味がありましたもので  
貴女の反応は、予想以上  
驚いています

…もし、更に強い  
性的刺激に興味があ  
りましたら  
明日の昼、また  
あの公園へお越し  
ください



…はっ、  
興味だ  
なんて…

興味がない  
と言うと、  
嘘になる

自慰は、僕たち  
艦娘の数少ない  
「娯楽」であり

生死をかけた  
出撃で溜まった  
激しいストレスの  
唯一の解消手段だ



…

更に強い…



正直なところ、  
我を失うほど、  
興奮したのとは  
初めてだった

僕はもう、今までと  
同じやりかたでは  
満足ができない  
ように思う



「彼」の目的が、  
僕をけしかけて  
自慰の痴態を見る  
だけであるなら  
そう、「彼」が見たい  
だけなら…



「彼」だけに  
見られるならば、  
僕はもう構わない  
そう、僕と「彼」は、  
言わばWin-Winの  
関係なんだ

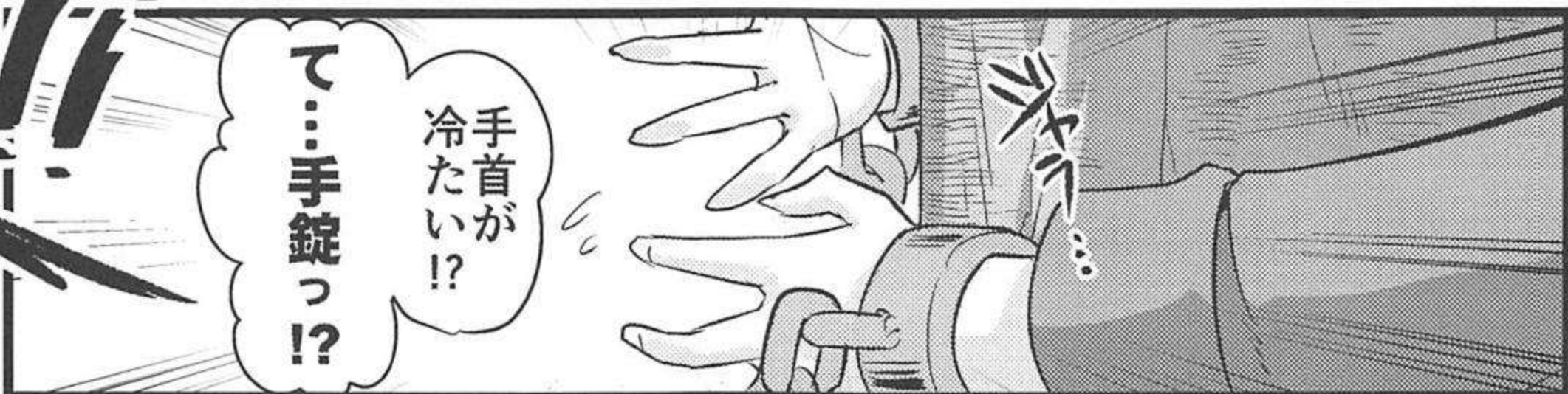


だから、僕は  
「彼」の誘いに  
乗ることを  
決めた

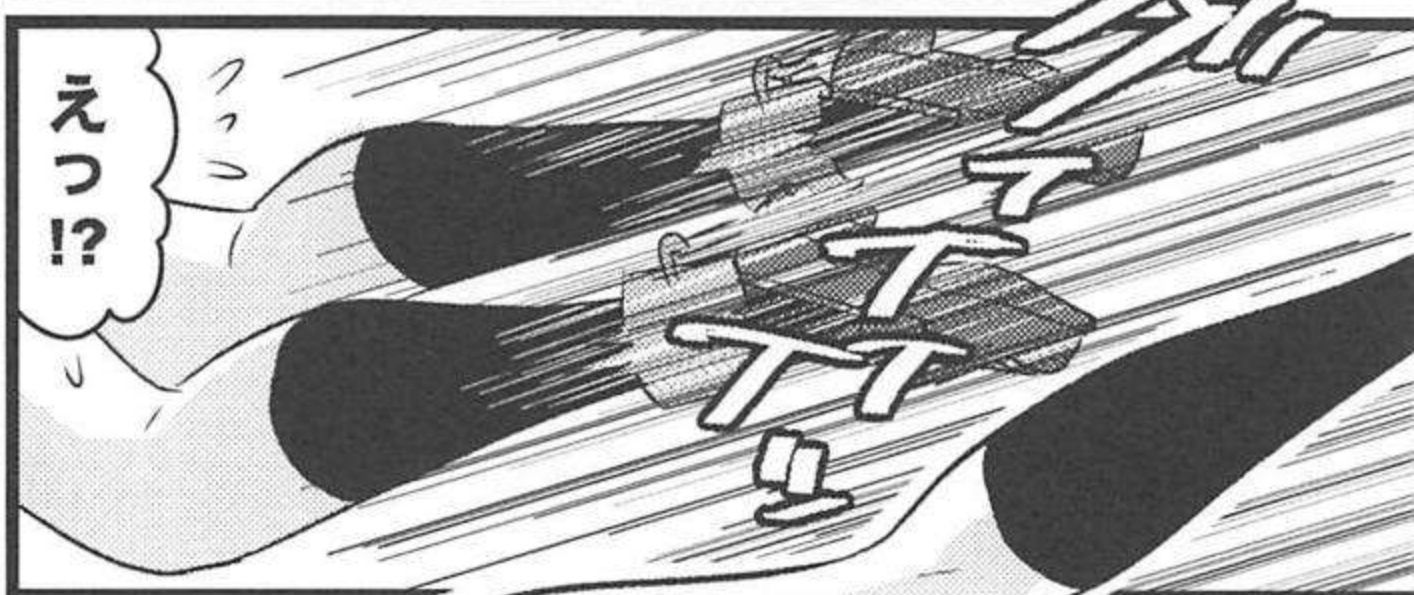


ふんっ











あつ、足枷が  
今度は両側に  
引っ張られ…



「彼」しかない



くっ…!!  
こっ、こんな

かっほ  
あまあ♡

手が使えない  
状態じゃ、  
ただの晒しもの  
じゃないか…!!



んっ!?



「彼」め、  
何を…!?

こんな状態じゃ  
何もできない



何か肌の上で動いてる...!?

ああっ!?



は、はは、虫か...よかった

...え?



あ...もしかして鎖の巻き上げのシヨックで落ちてきた虫かい!?

モゾ...



見えなないけどたぶん...その...

この虫

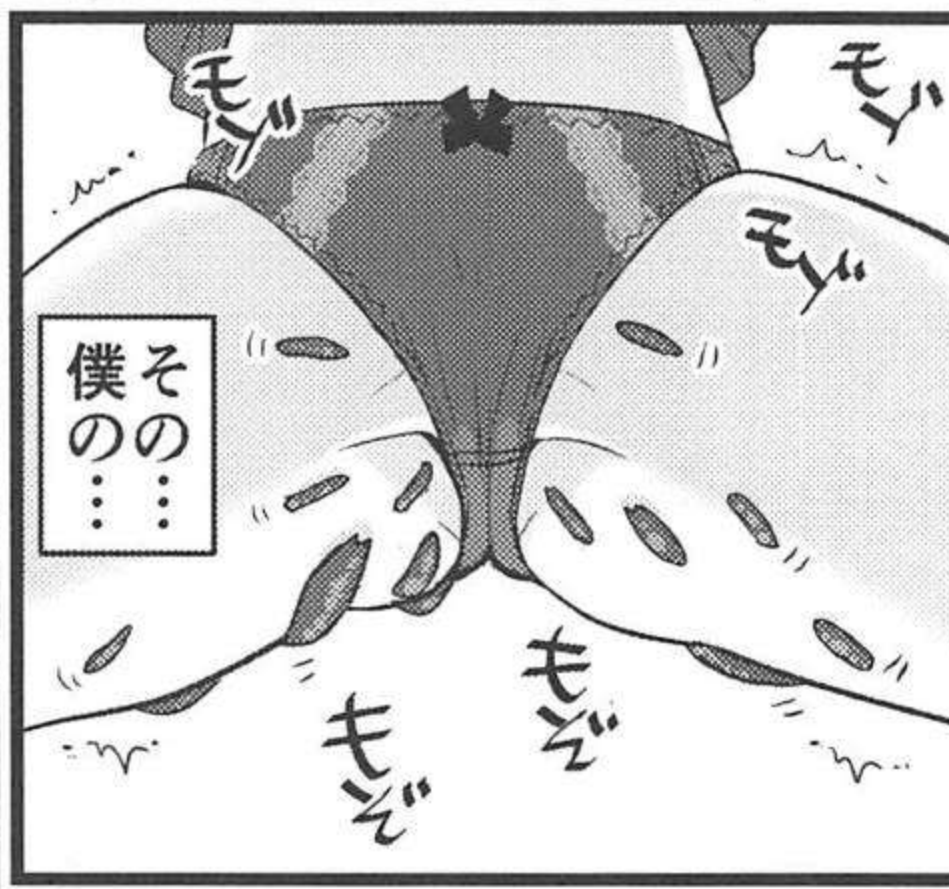


ちよっと待ってよ...



えっ、何、何だいこれ

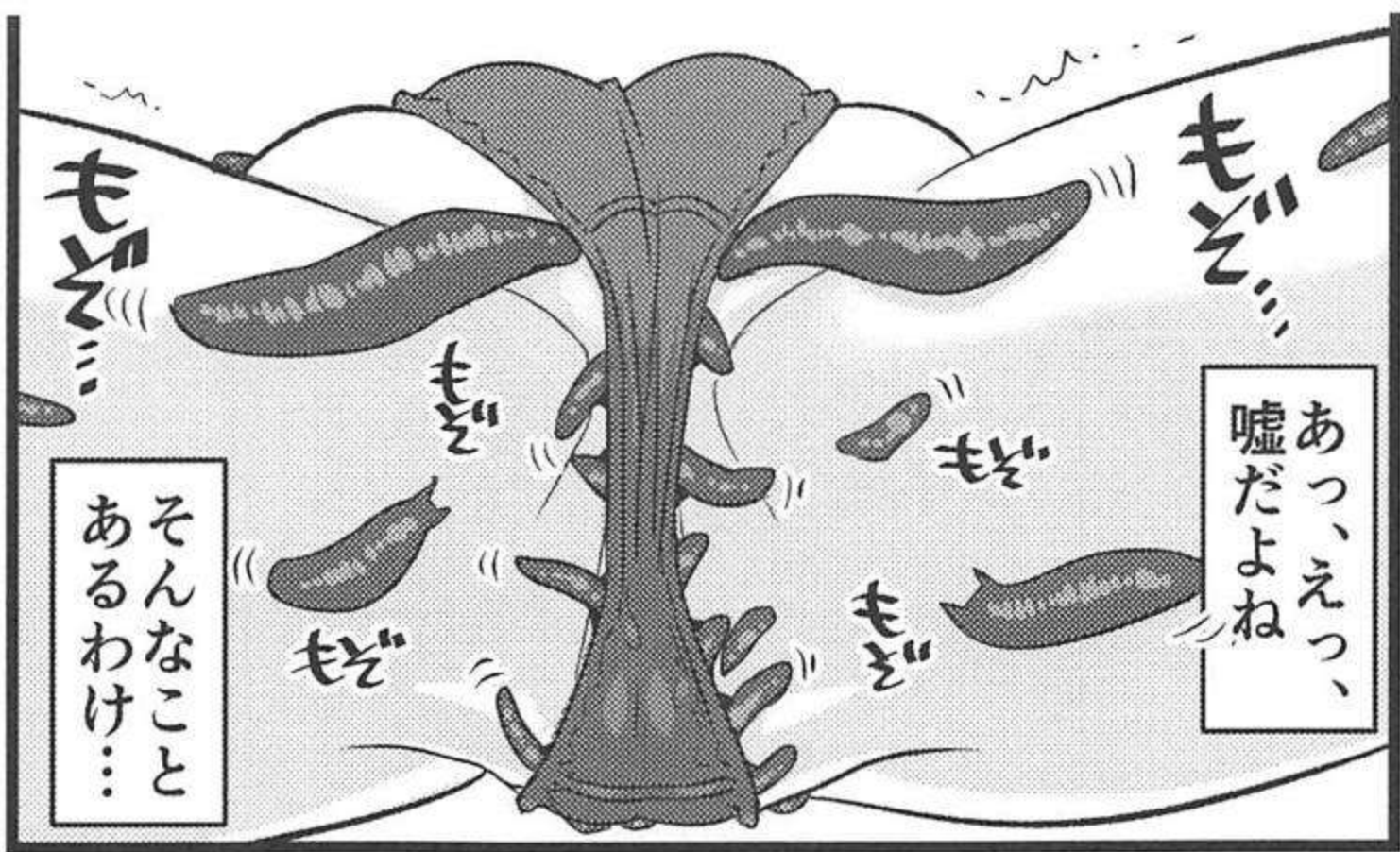
その...股に動いてる!?



その...



なっ!?



もぞぞ...

もぞぞ...

あつ、えつ、  
嘘だよね

そんなこと  
あるわけ...



もぞ

ずずず



入って...

どんだん  
下着の中に



もぞ...

ずず



もぞ

ずず



ぼ、僕の  
中に...??



もぞ

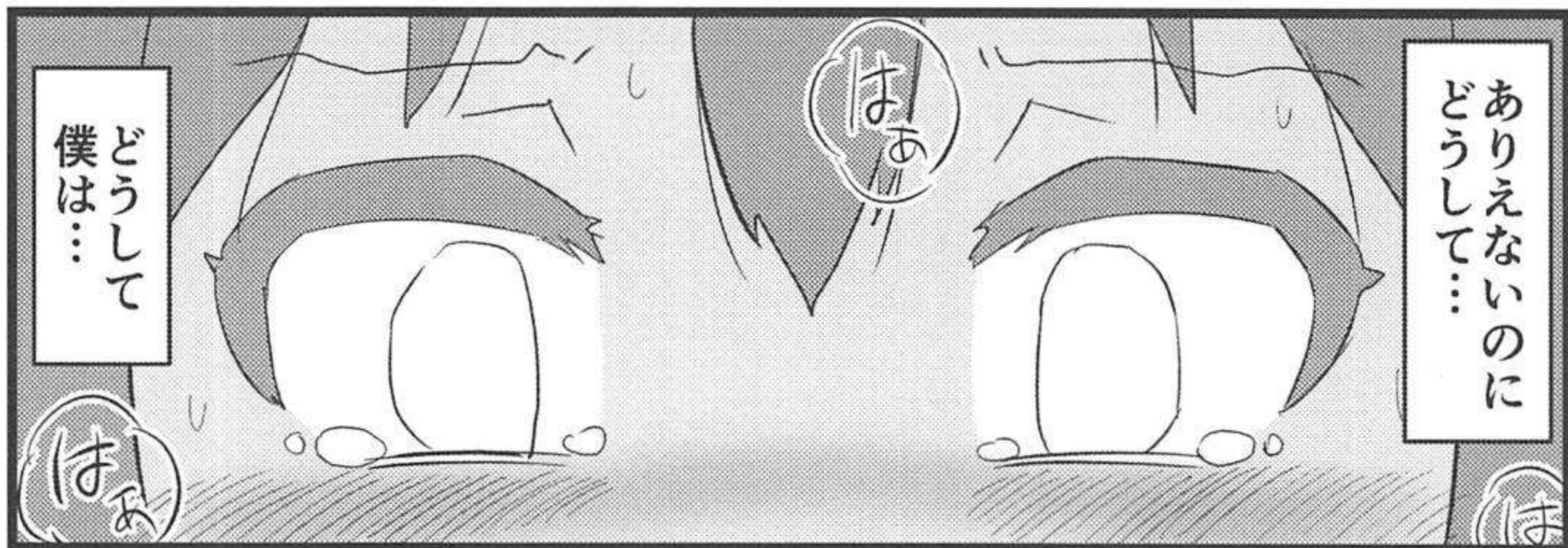
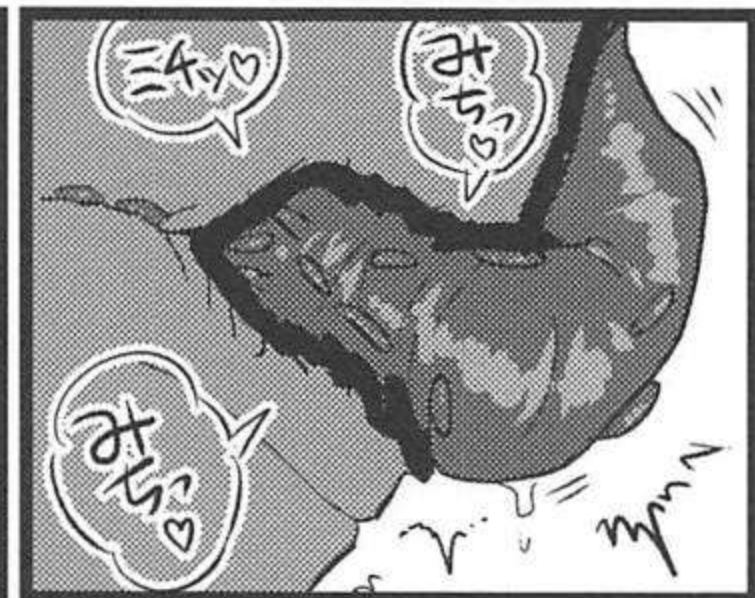
ずず

いいいや...  
下着じゃなくて



う、嘘だ  
嘘だ  
どんだん

入って  
くる...!?



こんなにも  
ひどく  
興奮してるんだい...??

わからない、  
僕は、自分が  
わからない...







貫かれるような

ガク

すごい！  
快感…!?



あああああ  
あああああ

なんだいこれ  
なんだいこれ

ブルブル

ブル

ブルブル



……!!

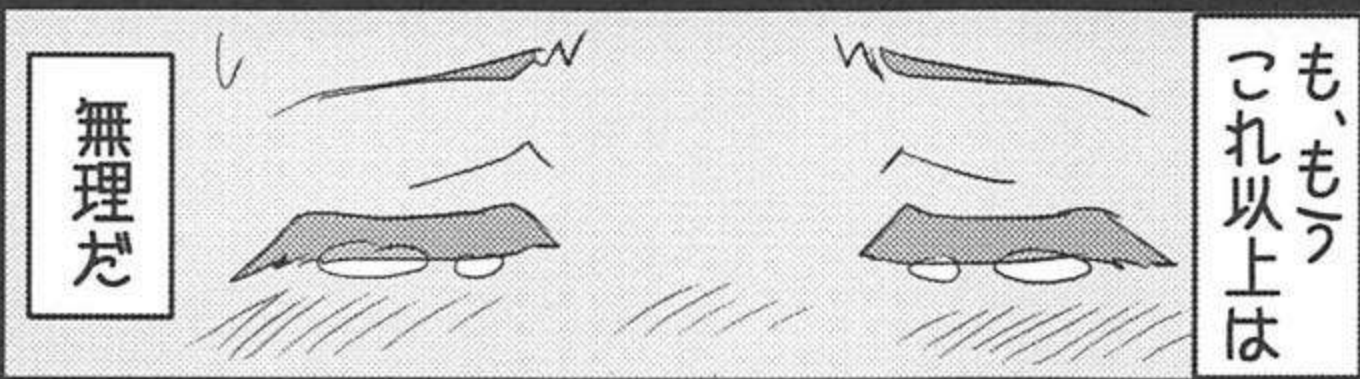
あああああ  
あああああ  
あああああ



あつ……  
膨らんでる



丸まってる  
押されてる



も、もう  
これ以上は

無理だ

なっ、  
中からっ



こんな  
気持ちいいのに

はあ

はあ

はあ

何も  
しない  
だなんて...!!



んっ

あはあっ

あっ

ん...

それから  
僕は

はあ...

屋間の公園の  
ベンチで

ふっ

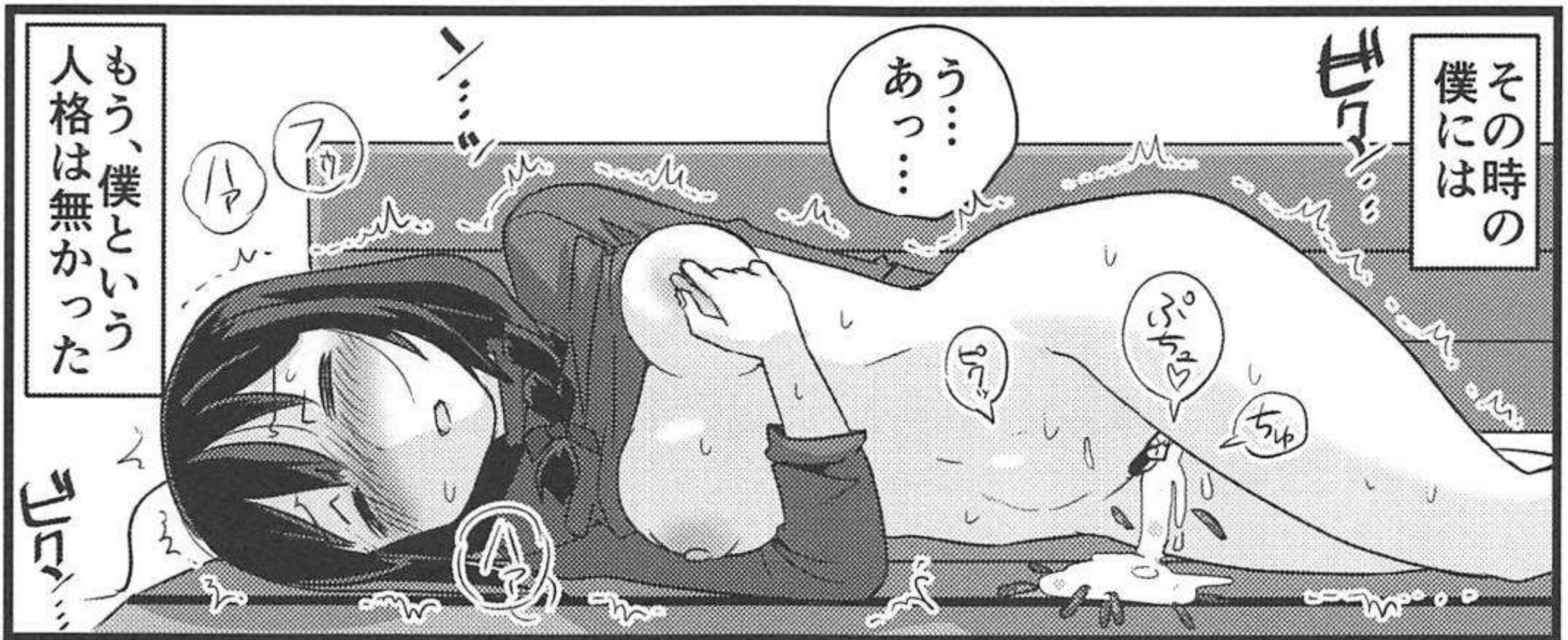
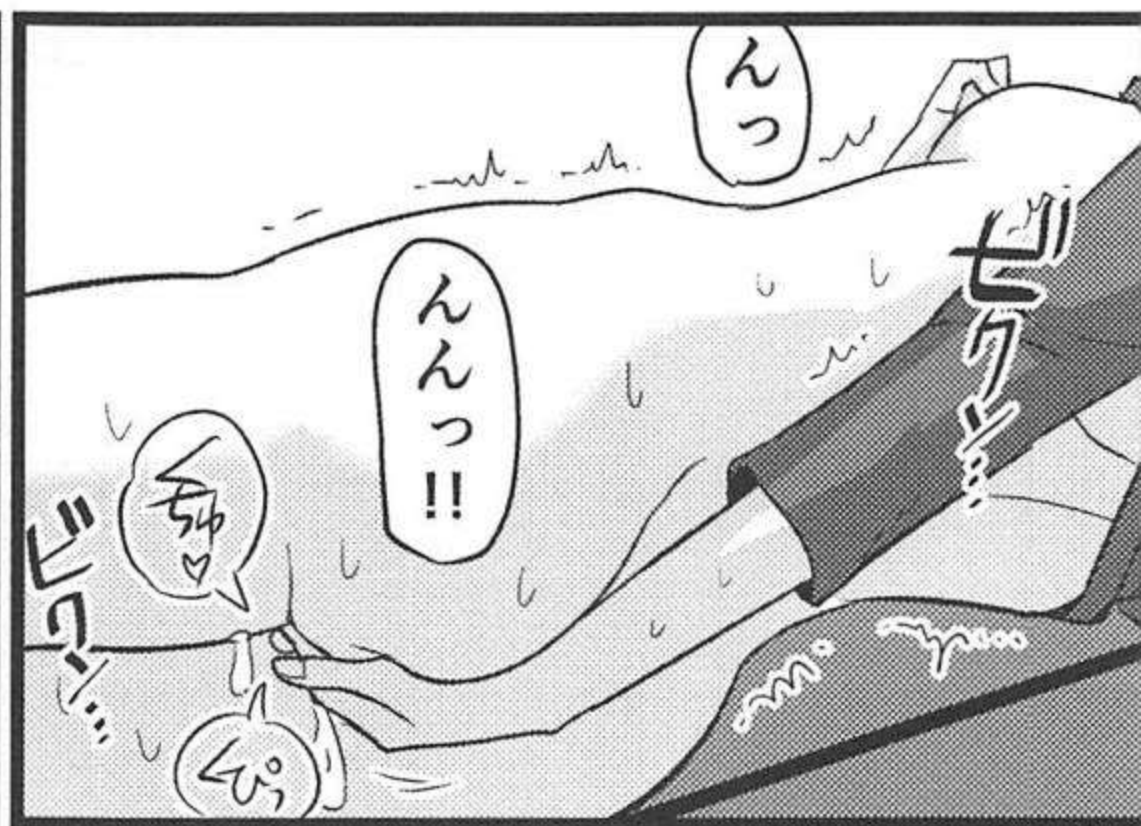
はあ

僕の膣内の  
奥深い所まで  
入り込んだ蟲と

あ...

ずっと自慰を  
続けていた





もう、僕という  
人格は無かった

その時の  
僕には



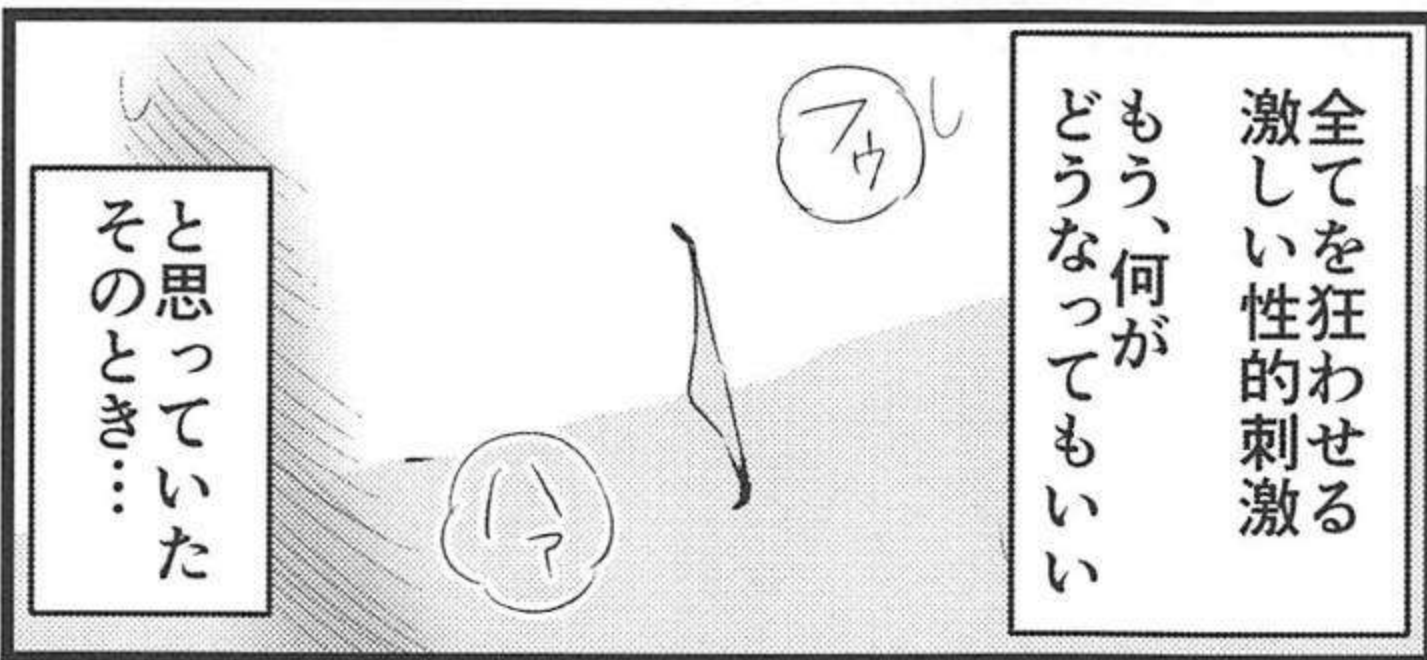
膨らみつつ  
断続的に  
蠕動的な  
僕の興奮を  
持続させる

僕の奥深く  
入り込んだ  
淫蟲は



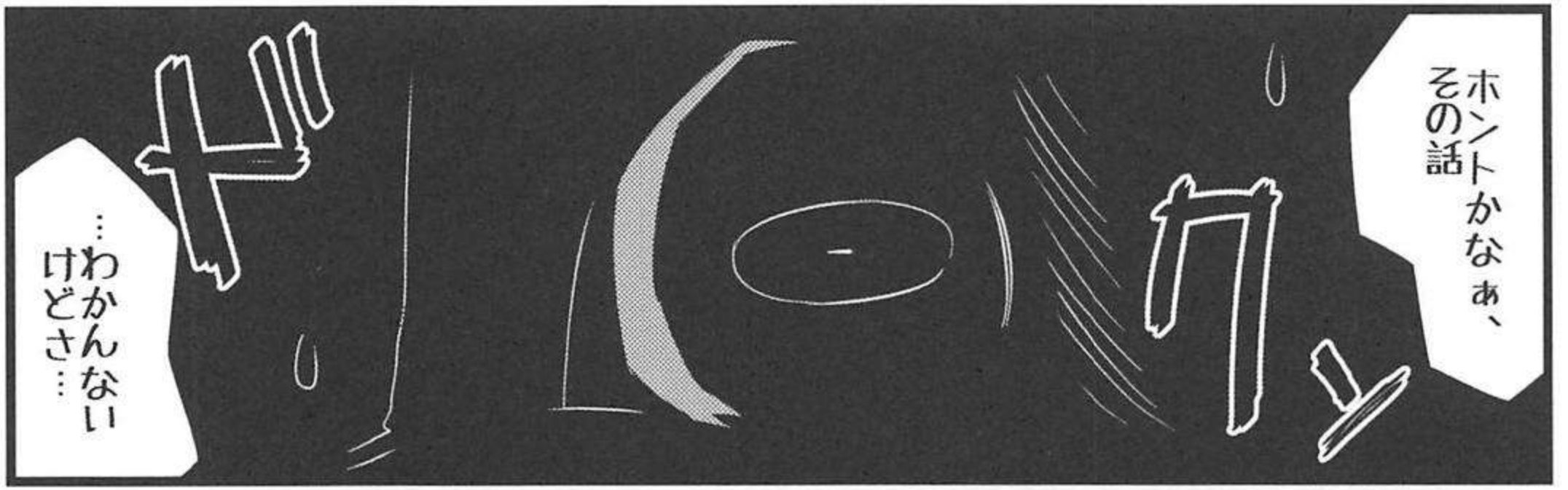
脳内麻薬に  
支配された

ただの  
淫猥な  
肉塊

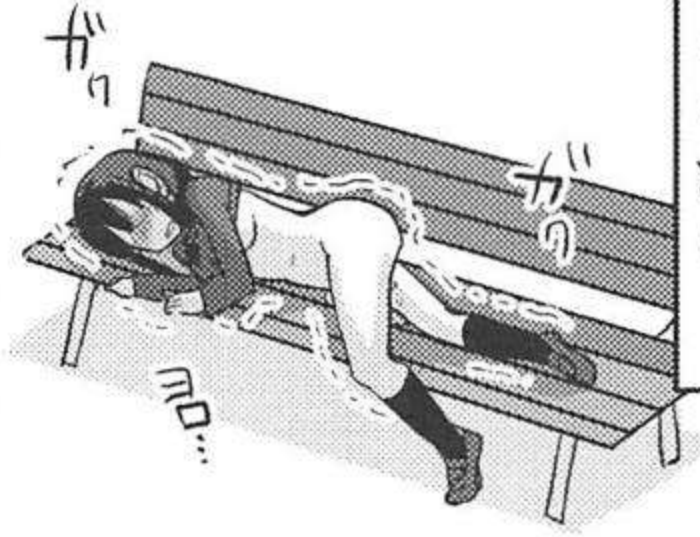


全てを狂わせる  
激しい性的刺激  
もう、何が  
どうなってもいい

と  
思っていた  
そのとき...



と、とにかく  
ここから



隠れないと...



あ、暴れる



だ、だめ、  
暴れないで



いま...は...  
声が...あつ

っはあ...



なんだよ、俺の兄ちゃん  
嘘つきだって言うの...  
あれ？近くで変な声  
聞こえなかったか？

う、うん...  
聞こえた...

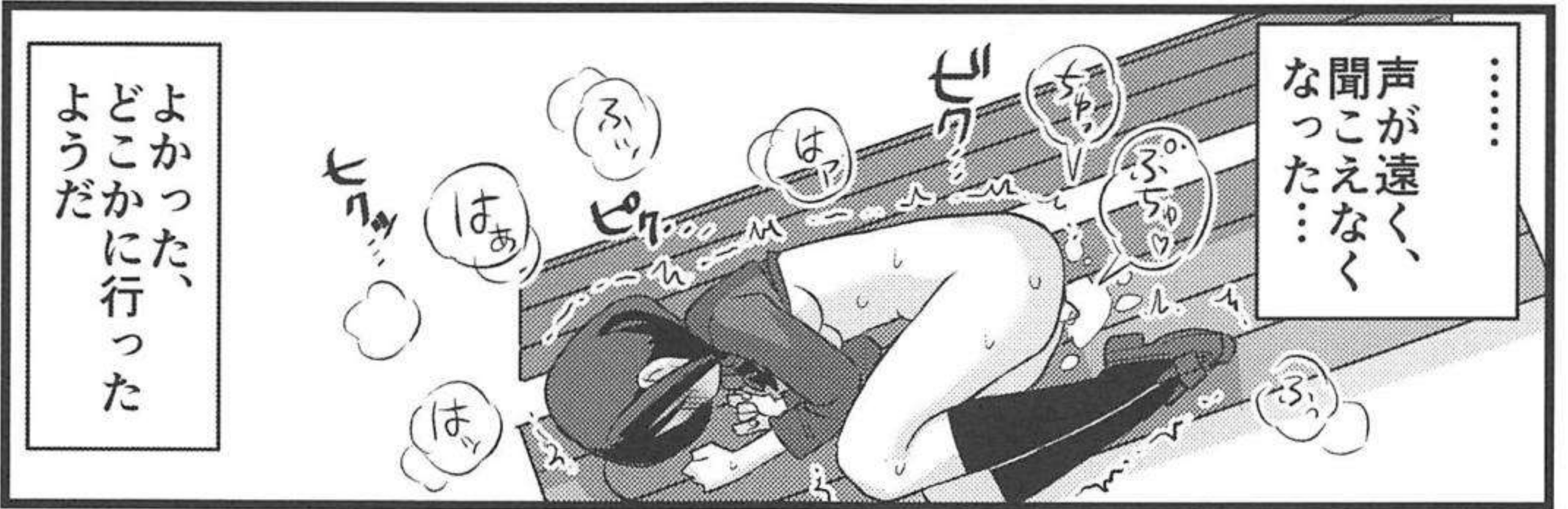


気づかれた!?  
や、やめて、  
虫、暴れないで

ほ、ほんとに  
いるんだ...

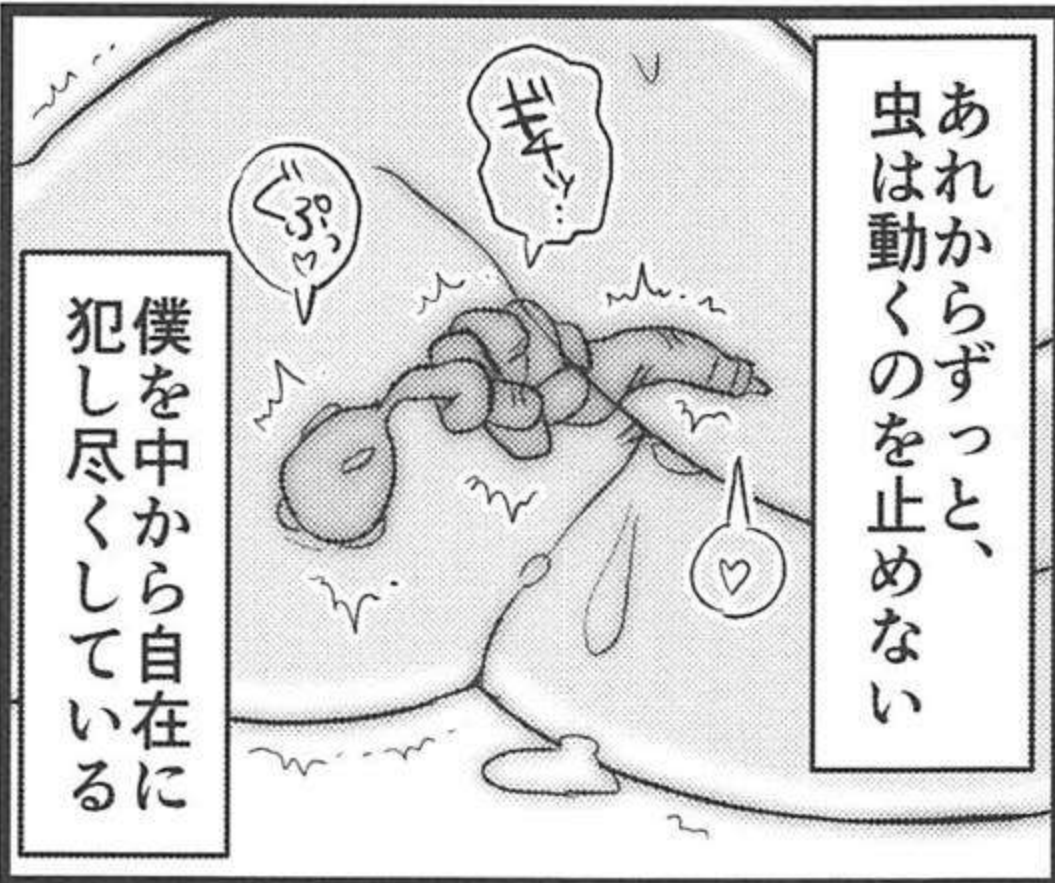
大丈夫、俺の兄ちゃん  
嘘つかないって!!





よかった、  
どこかに行った  
ようだ

...  
声が遠く、  
聞こえなくなっただけだ...



僕を中から自在に  
犯し尽くしている

あれからずっと、  
虫は動くのを止めない



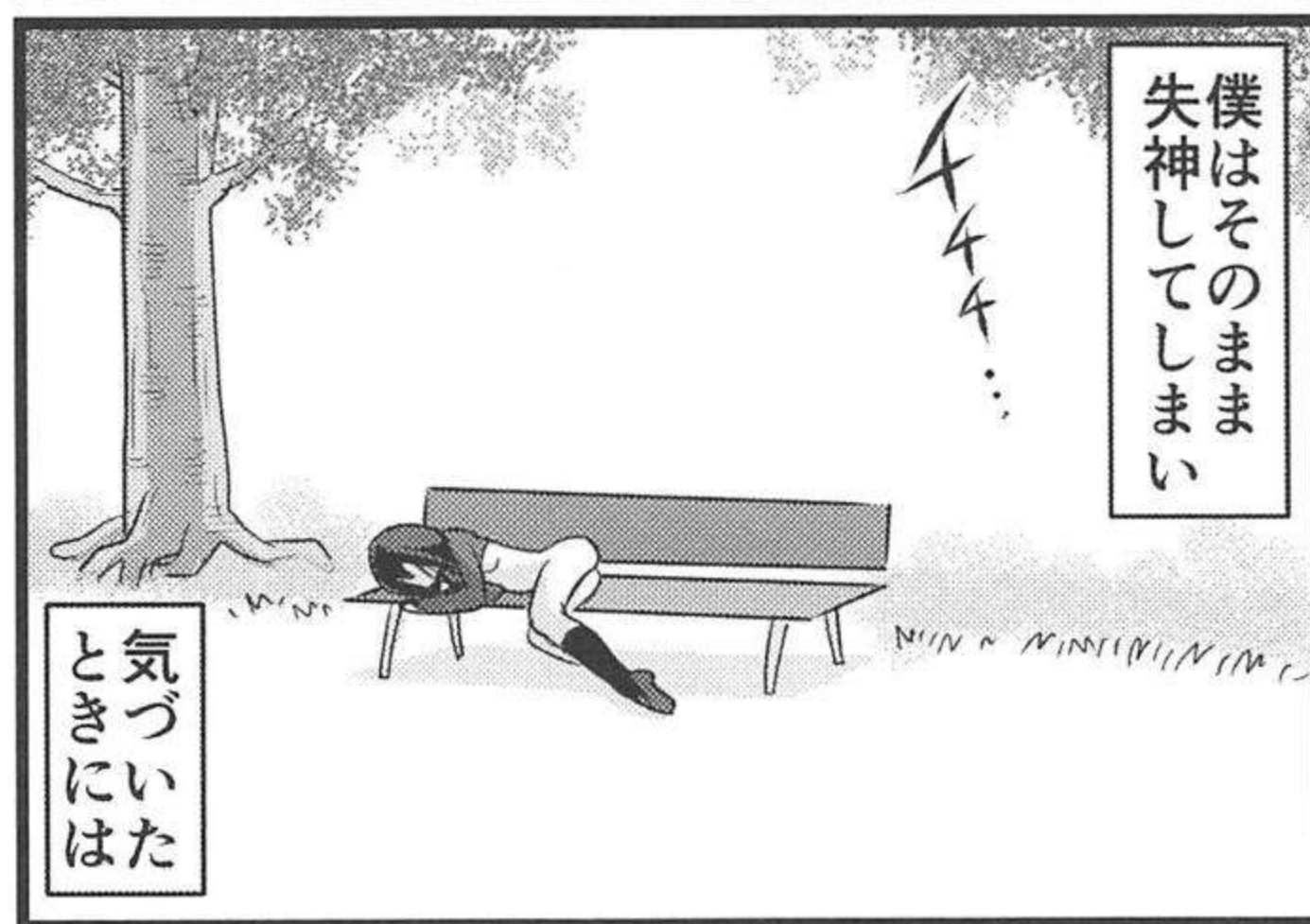
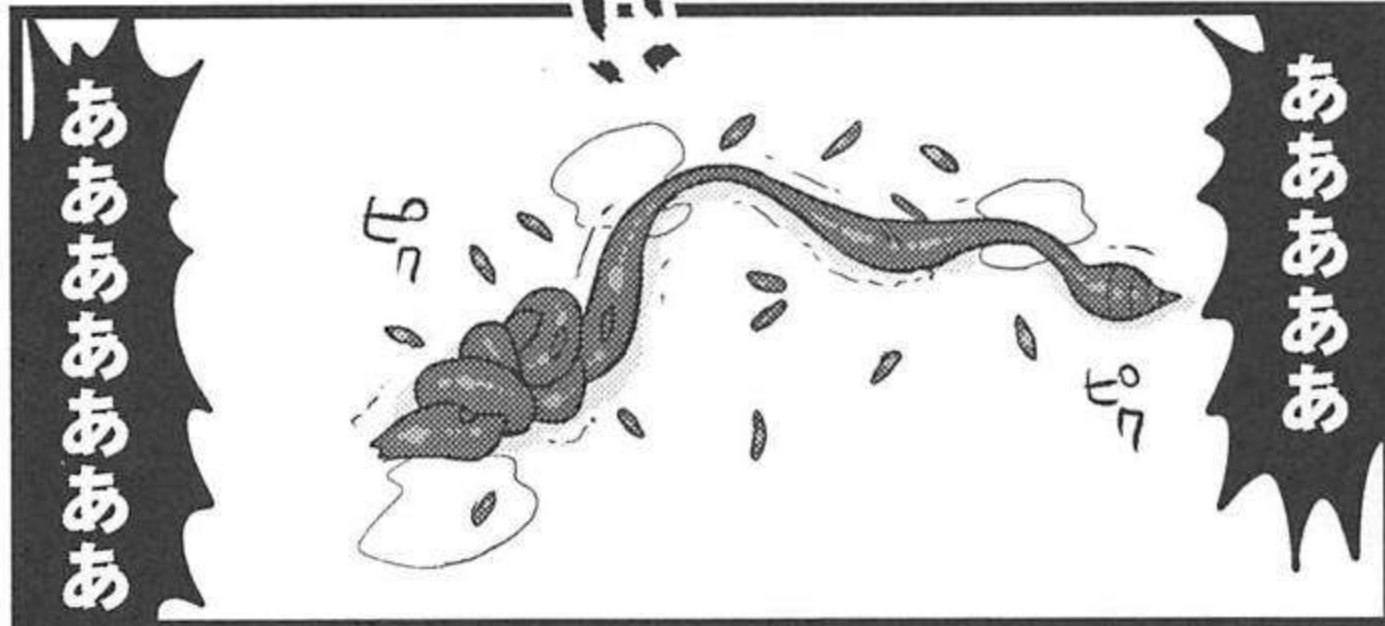
でも、  
もう僕も  
限界だ...



もう、何も  
考えられない...  
何もかもいい...  
どうでもいい...

終わらない  
恍惚の時間

僕はもう  
このまま...





鎮守府の  
中にいたの

…目覚めた  
っぽい…



時雨ちゃん  
大丈夫??

時雨、  
心配した  
っぽい!!



寮の部屋よ

…ここは?

時雨、お出かけ  
から帰ってこない  
と思ってたら、門  
の前で倒れてた  
っぽい…



手紙…

そのとき、  
僕は理解した  
あの時、虫から  
助けてくれた  
人物は  
「彼」であり



とりあえず  
休むっぽい!!  
また後で  
来るっぽい!!

あ、あと、  
手紙来てたっぽい



この手紙も  
また、  
「彼」からの  
手紙だろう  
ということ





三つ編みの  
艦娘さん

今回は  
趣向を  
変えて  
みました  
少しへび  
でしたで  
しょうか  
それとも、貴女なら  
物足りなかつた  
かもしれませぬ



ところで途中、  
少年たちが  
近くまでお邪魔  
したかと思えます  
彼らは、貴女と同じ  
性的なことには深く  
興味のある年頃です

貴女は人物的にも  
性的にも、本当に  
魅力のある女性です

貴女と私だけで  
魅力を共有するのは  
勿体ないと思えます

どうでしょう、



んっ…

んっ…♡



彼らとの「自慰」に  
興味はありませんか

あくまで「自慰」です  
ご心配はいりません



彼らとの、  
って…

…  
…  
…  
そんな  
自慰が…  
あるわけ…

悪い夢は、  
まだ覚めない——(続く)

**続・空蟬**

**印刷所：大陽出版**

**発行者：M.A.D WORKS**

**発行日：2018/12/30**

**連絡先：<http://www.mad-works.net>  
[dojin@mad-works.net](mailto:dojin@mad-works.net)**